

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市水口町松尾1256番地

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
地方独立行政法人公立甲賀病院
理事長 辻川 知之

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	地方独立行政法人公立甲賀病院 理事長 辻川 知之
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市水口町松尾1256番地

1 事業所の概要

事業所の名称	地方独立行政法人公立甲賀病院					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町松尾1256番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	8	3	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	医療機関					
従業員の数	996	人	操業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備	2	台
	コンプレッサ	4	台	空気調和設備	0	台
				照明設備	6000	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2022	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了 年度	2026	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち地方独立行政法人公立甲賀病院は環境保全のため、以下の活動を積極的に取り組むように努めてまいります。

- ① 省エネルギー、省資源に取り組めます。具体的な活動として使用しない部屋の節電の徹底、室温をクールビズでは26℃に設定、ウォームビズでは20℃に設定を徹底します。
- ② 廃棄物の削減と分別、再資源化に取り組めます。
- ③ 機器購入、更新時は省エネタイプ購入の推進に取り組めます。

2 取組の推進体制

別紙資料(体制表)のとおり

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

私たち地方独立行政法人公立甲賀病院は環境保全のため、以下の活動を積極的に取り組んでまいりました。

- ・ノーネクタイを推奨するクールビズ運動(冷房負荷の軽減)
- ・エアコンの室外機に日除け設置、打ち水の実施(冷房負荷の軽減)
- ・トイレ温水ウォシュレット、便座ヒーターの設定温度を下げる(省電力)
- ・消費電力の大きい電気ストーブ使用制限(暖房負荷の軽減)
- ・冷房から扇風機への移行(冷房負荷の軽減)
- ・省エネパトロール(空調・照明消し忘れチェック)
- ・遮熱フィルムの導入(冷房、暖房負荷の軽減)
- ・ノートパソコンのセーフモード推奨(こまめに画面を閉じて省電力)
- ・一定の時間ごとに温度計チェック(冷房、暖房負荷の軽減)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	空調の温度管理(診療現場以外で夏季26度、冬季20度に設定。)	2022年度～	継続実施中
2	運用改善	月ごとの電気使用量や電気料金を院内に周知し、節電啓発に努める。	2022年度～	継続実施中
3	設備導入	LED照明の導入。	2022年度～	継続実施中
4	設備導入	老朽化した空調設備の清掃により冷暖房効率の向上	2023年度～	継続実施中
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記の取組等により、以下の数値目標の達成を目指します。	エネルギー起源二酸化炭素排出量 t-CO2が2023年度が1,847に対して、2024年度が2,114であり、増加してしまったため、削減に向けて取り組みを強化する。
原単位「温室効果ガス排出量／延床面積」で、前年度比3パーセント削減を目指す。	
温室効果ガス排出量(調整後排出係数/2021年度) 2,114 t-CO2	
延床面積(2021年現在) 31,164.47 m ² → 2021年度原単位 67.833	
原単位の考え方は以下のとおり。 ・医療機関としていわゆる「生産量」を把握することは難しく、延べ床面積を分母として、温室効果ガス排出量の増減を把握・評価する。	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,493	1,557	1,452			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	1,776	2,242	2,406			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	1,776	2,242	2,406			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0			
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		59.287	設定なし	設定なし			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						